

「林業遺産」とは

- 日本各地の林業の歴史を読み解き、将来にわたって記憶・記録する取組として、日本森林学会が2013年度より事業開始。
- 林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等を中心に、体系的な技術、道具類等の資料群を認定。
- これまでに全国で16件選定(2016年度は7件追加)。
- 高知県は、長野県、福井県と並び林業遺産認定日本一に(3件)。

林業遺産の分類

1. 林業発祥地
2. 林業景観
3. 林業記念地
4. 林業跡地
5. 搬出関係
6. 建造物
7. 技術体系
8. 道具類
9. 資料群

四国の林業遺産(2件)

1. 四国森林管理局保存の大正～昭和初期の林業関係写真 (2013年度認定)

- ・所有者: 四国森林管理局

- ・概要

当時の四国における林業状況を示すまとまった写真集
(分類9: 資料群)

2. いの町の森林軌道跡(2013年度認定)

- ・管理者: いの町・いの町雇用創造協議会

- ・概要

国有林野事業と共に歩んできた、いの町の歴史を示す森林軌道跡(分類5: 搬出関係)

初代保護林 白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源 保存林(分類3:林業記念地)

- 管理者：四国森林管理局
- 所在地：高知県長岡郡本山町 208.54ha
- 林業遺産としての価値

大正4年に森林施業及び学術的参考として指定された保護林発足指定5箇所のうち、現在も保護され指定区域も変わっていない唯一の保護林。

- 歴史

白髪山天然ヒノキの利用は古く、戦国時代には既に名産物となっており、江戸時代には土佐藩が当地の天然ヒノキを伐採し、吉野川を筏で下り大阪に運び城郭寺院に使われた。

江戸時代までの利用の歴史を経てなお残る天然ヒノキの美林として大正4年に初代保護林として認定。



白髪山林木遺伝資源保存林マップ

